

宇都隆史外務副大臣 三沢市訪問

令和3年4月12日（月）

三沢基地勤務経験のある宇都隆史外務副大臣が三沢市を訪問された記事を紹介します。

「市民と基地共存図る」
宇都外務副大臣
三沢市長と会談

宇都隆史外務副大臣が12日、三沢市役所を訪れ、小松山吉紀市長と非公開で約30分間会談した。終了後の会見で宇都副大臣は「市民と基地側、お互い共存が図られる道を、政府としても汗をかいていきたい」と述べ、三沢市と三沢基地との「共存共栄」関係の継続に力を尽くす意向を示した。

宇都副大臣は、昨年12月に初めて米軍三沢基地で開いた日米学生交流イベントについて「新しい共存のありかた」とし、市長に「三沢市のおかげでできた」と報告した。新型コロナウイルスを巡っては「経済が疲弊している三沢の状況を確認、コロナ収束に向け全力で当たらなければと意を強くした」と語った。

宇都副大臣は元航空自衛官で、三沢基地に勤務した経験もある。小松山市長との会談に先立ち、米軍三沢基地のジェシー・J・フリール司令官、空自三沢基地の久保田隆裕司令とも面会した。

（岡田圭逸）



小松山市長(右)と会談した後、
会見する宇都外務副大臣(左)